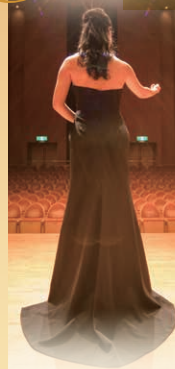
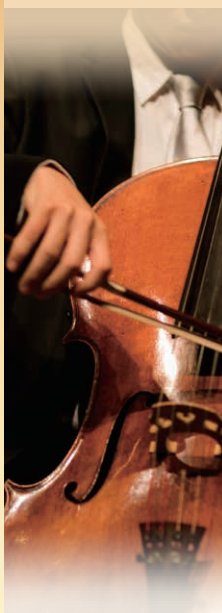




公益財団法人
青山音楽財団
AOYAMA MUSIC FOUNDATION
KYOTO, SINCE 1990

第11回 奨学生成果披露演奏会
若き音楽家たちによる
音の祭典



Vol.1 3.9 sat

Vol.2 3.10 sun

Vol.3 3.16 sat

各 15:00 開演 (14:30 開場)

会場 / 京都 青山音楽記念館 バロックザール

主催：公益財団法人青山音楽財団 後援：京都府、京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会

感染症対策に
ご協力ください

館内ではマスクの着用を推奨しております。お話をされる際、プラボーなどのお声がけをされる際はマスクの着用をお願いいたします。咳エチケットの実践にご協力ください

気持ちよく
ご鑑賞いただくために

○写真撮影・録音・録画はお断りいたします。○携帯電話の電源、時計のアラームはお切りください。補聴器をご利用のお客様は発信音が出ないよう、お取り扱いにご注意ください。
○またお手回り品など音の出るものの取り扱いにはご注意ください。○客席での飲食はお断りいたします。

ご挨拶

本日は「第11回奨学生成果披露演奏会 若き音楽家たちによる音の祭典」にお越しいただき誠にありがとうございます。

今年度は、10大学から43名の優秀な学生を推薦いただきました。ご協力賜りました10大学の先生方、関係者の皆さま方には深く御礼申し上げます。

この演奏会は、様々な音楽分野の奨学生が1年間学んだ成果を披露するもので、その熱演に好評をいただいております。今年も3日間に渡り、フレッシュな魅力溢れる演奏をお届けいたします。彼らが情熱を傾けて磨いてきた演奏技術を存分に発揮し、この場で切磋琢磨し成長することを心から願っております。

皆さまには、研鑽を続けてきました将来を嘱望される若き音楽家たちを、温かくご支援くださいますようお願いいたします。

青山音楽財団奨学生成果披露演奏会は、2014年3月に第1回を開催し、奨学生はのべ500名に届こうとしております。バロックザールで演奏したかつての奨学生は、音楽界において堅実に歩みを進めております。

青山音楽財団は、微力ではありますが、日本の音楽文化の発展を目指し、これからも若い音楽家たちの育成や支援に努めて参ります。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

公益財団法人青山音楽財団

理事長 青山敦

本日は、お忙しい中、ご来館頂き誠に有難うございます。

青山音楽財団は、故青山政次氏より寄贈された青山音楽記念館 バロックザールを管理・運営し、音楽文化の普及、発展に寄与すると共に、将来を担う若い音楽家を支援する事を目的として設立され、その理念に沿って数々の事業を行って参りました。

2011年、公益財団法人への移行を機に、新たに「育成支援事業」を立ち上げました。奨学金事業はその一つとして発足させたものです。本年度は、指定大学10校から43名の大変優秀な学生達を青山音楽財団奨学生として推薦して頂きました。「若き音楽家たちによる音の祭典」は奨学生たちが1年間に学んだ成果を披露する場であり、次代を担う若者たちのフレッシュな熱演をお楽しみ頂ける機会でもあります。

不断の精進が大切である事は言うまでもないことですが、聴衆を前にしての「本番」が、日々の練習からだけでは得ることの出来ない何かを体験する、表現者として成長する為に必須の貴重な機会であることは、広く知られているところでございます。

真に優れた芸術家は、数多くの上質な聴衆に育まれる事に依って生まれるものである事を、私は確信しております。

聴衆の皆様には、何卒、まだ若い芸術家の卵たちを温かく、又、厳しく見守り育てて頂きますようお願い申し上げますと共に、今後とも公益財団法人青山音楽財団に対しご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

公益財団法人青山音楽財団 育成支援事業選考委員会 審査委員長

岸邊 百百雄

Vol.1 2024.3.9 sat 15:00 開演 (14:30 開場)

きだち ひろと
01. 木立 寛人 桐朋学園大学 3年/ヴァイオリン

ピアノ
山縣 美季
(東京藝術大学4年)



R. シューマン：3つのロマンス op.94 より 第2曲 素朴に、内的に、第3曲 速くなく

R. Schumann: 3 Romanzen, op.94, II. Einfach, innig, III. Nicht schnell

この曲は妻のクララ・シューマンへのクリスマスプレゼントとして贈られた。演奏する第2曲、第3曲では「愛」の意味合いを持つ長調が使われている。しかし、非常に細かく調性が変わり、シューマンの不安定な心情が綴られているように感じられる。所々に意図的に不安定な和声を置き、儂い美しさや、憧れ、童心のようなものを描いている。シューマンの細やかな心情の変化を感じてもらえたらと思う。

[Profile]青森県出身。桐朋女子高等学校音楽科(男女共学)を経て、桐朋学園大学音楽学部にて特待生として入学。2020年第74回全日本学生音楽コンクール高校の部全国大会第1位、併せて東儀賞、兎東賞、日本放送協会賞、音楽奨励賞を受賞。第30回日本クラシック音楽コンクール高校の部第2位(1位なし)。これまでに長谷川佳子、木村恭子、辰巳明子、田中晶子の各氏に師事。

しみずかのん
02. 志水 栞音 沖縄県立芸術大学 2年/ピアノ

ラヴェル：夜のガスパール より 3. 「スカルボ」

Ravel: Gaspard de la nuit, III. "Scarbo"

『夜のガスパール』とは、アロイジュス・ベルトランの64篇から成る散文詩集のタイトルで、「スカルボ」はいたずら好きの妖精を指します。部屋の中を目まぐるしくかけめぐりいたずらばかりしている様子が、特殊なテクニックで鮮やかに表現されています。現れては消えて、を繰り返す怪奇な妖精の様子を想像してお聴き下さい。



[Profile]兵庫県立西宮高校音楽科 ピアノ専攻卒業。これまで、岡田裕子、三森尚子、小杉裕一の各氏に師事。

こうのあかり
03. 河野 星 東京藝術大学 4年/ファゴット

ピアノ
宇根 美沙恵
(東京藝術大学非常勤講師、演奏研究員)



カリヴォダ：ファゴットとピアノのためのサロンの小品 op.230

Kalliwoda: Morceau de salon op.230 für Fagott und Klavier

カリヴォダはプラハ生まれで指揮者、作曲家、ヴァイオリニストとして主にドイツで活躍した。1822年からはドナウエッシンゲンで宮廷音楽監督として活動し、リストやシューマン夫婦とも交流があった。曲は明るく伸びやかでまるでオペラのように始まる。短調で激しさもある舞踏的、行進曲風な部分など色彩豊かな楽想になっている。

[Profile]第21回東京音楽コンクール 木管部門第2位、第2回日本ファゴットコンクール第2位など多数受賞。2023年宮田亮平奨学金を受賞。モーニングコンサートにて藝大フィルハーモニア管弦楽団とウェーバーのファゴット協奏曲を共演。ファゴットを坂井由佳、神山純、井上俊次、岡本正之の各氏に師事。

くろいわみお
04. 黒岩 美音 愛知県立芸術大学 3年/ヴァイオリン

イザイ：無伴奏ヴァイオリンソナタ ニ短調 op.27-3 「バラード」

Ysaie: Sonata for Solo Violin in D Minor, op. 27, No. 3, "Ballade"

「バラード」という題名が付いているこの曲ですが、物語のように次から次へと展開されていく音楽が特徴的です。緊張感のある序奏から始まり、力強くドラマチックな主題が繰り返されていきます。この曲は、ルーマニアの作曲家であるジョルジュ・エネスクに献呈されました。技巧のかつ音楽的なヴァイオリニストらしいイザイの音楽をお聴きください。



[Profile]群馬県前橋市出身。2023セイジ・オザワ松本フェスティバルに小澤征爾音楽塾オーケストラメンバーとして出演。大学内の選抜オーディションにより「室内楽の楽しみ2023」、独奏では「第56回定期演奏会」に出演。現在、桐山建志、フェデリコ・アゴ스티ーニの各氏に師事。

さとう たくま
05. 佐藤 巧麻 東京藝術大学 4年/クラリネット

ピアノ
小澤 佳永
(ピアニスト)



サン=サーンス：序奏とロンド・カプリチオーソ イ短調 op.28

Saint-Saëns : Introduction et rondo capriccioso a-moll, op. 28

カミーユ・サン=サーンスが、ヴァイオリニストのサラサーテのために書いた。サラサーテの出身であるスペインのモチーフが取り入れられたエキゾチックな雰囲気が特徴。重くゆったりとした序奏部分と、情熱的なリズムが繰り返されるロンド・カプリチオーソからなる。本日はビゼーによるピアノ伴奏編曲版を、クラリネットで音域と重音を調整しながら演奏する。

[Profile]横浜市出身。横浜創学館高等学校卒業。これまでに京谷麻里子、三界秀実、近藤千花子、伊藤圭の各氏に師事。2023年度モーニング・コンサートにてジェラルド・フィンジの協奏曲を山下一史指揮、藝大フィルハーモニア管弦楽団と共演。2023年度安宅賞受賞。

■ 休憩 ■

はせがわ りな
06. 長谷川 莉奈 東京藝術大学 4年/小鼓(邦楽囃子)

杵屋正邦：重陽

本日は、現代邦楽のバイオニアとして知られる杵屋正邦(1914~1996)の作品《重陽》を演奏します。この作品は、小鼓の独奏曲として自由な拍節で構成されており、「序破急」、「間」、「息」を大切に、聴き手にそれを伝える難しさがあります。



[Profile]神奈川県出身。11歳から邦楽囃子を始める。現在邦楽囃子を藤舎呂英氏に師事、長唄三味線を松永忠一郎氏に師事。第35回市川市文化振興財団新人演奏家コンクール(邦楽器部門)にて優秀賞を受賞。東京藝術大学附属音楽高等学校卒業。東京藝術大学在学中に「常英賞」を受賞。2023年に「藤舎英佳」の名を許される。

いわもと るりこ
07. 岩本 留理子 東京藝術大学 4年/唄(長唄)
長唄三味線
今藤 龍十郎・杵屋 五十助

十世杵屋六左衛門：秋の色種(あきのいろくさ) 二上り より

1845年、麻布不二見坂にあった南部候邸新築のお祝いに作曲されました。秋の庭の風情を中心に、四季の美しさを唄った曲です。

三味線は上調子も活躍し、歌舞伎の伴奏音楽から離れた「観賞用長唄」として名高い名曲です。歌詞には和歌や漢詩が多く用いられています。格調高い雰囲気をまといつつ、艶かしさをもって唄いたいです。



[Profile]東京都出身。長唄を父松永忠次郎に手ほどきを受け、3歳で初舞台を踏み現在に至る。2014年より河東節を故山彦節子氏(人間国宝)に師事。2019年に「松永和之助」の名を許される。東京藝術大学在学中に「長唄東国会賞」「安宅賞」を受賞。NHK-FM「邦楽のひととき」、ニコニコ超歌舞伎録音収録等に出演。

こぬま たつゆき
08. 小沼 竜之 東京藝術大学 3年/作曲

オーボエ
田邊 奏貴
(東京藝術大学3年)



小沼 竜之：Unbra for Oboe

Tatsuyuki KONUMA : Unbra for Oboe

オーボエは木管楽器の中でもとりわけ長い歴史を有し、甘く美しい音色がとても心地良いことで知られる。その反面、通常の奏法では音域が狭く、表現可能な音色の幅はフリーリードやシングルリードの楽器属と比べ、かなりの制限があるように感じていた。しかしながら、特殊奏法である重音は高音域の倍音を非常に多く含んでおり、さまざまなニュアンスの音色が表現可能である。本作ではさらに、八分音、ハーモニクス、リップベンドなどを織り交ぜた。上述の特殊奏法はノイズの使用そのものを意図したわけではなく、音色の変化を生むことが目的である。これらを旋律の中へ馴染ませるように入れ込むことで、より効果的な作曲を狙った。オーボエという楽器の隠された一面にフォーカスを当てたいという考えから、アンブラ(=陰)という表題を設定した。制作にあたってさまざまな実験に尽力し、難解な演奏を引き受けてくれた田邊奏貴氏に、この場をお借りして、心から感謝申し上げます。

[Profile]東京都出身。茨城大学教育学部音楽選修卒業。第22回TIAA全日本作曲家コンクール奨励賞受賞。2023年度木曜コンサート「作曲」に選出され、台東区立旧東京音楽学校奏楽堂で《深間に蠢(うごめ)く -ソプラノと5人の奏者のために-》を初演。

いちほら ふうた
09. 市原 風太 愛知県立芸術大学 4年/ピアノ

グリンカ = バラキレフ : ひばり

Balakirev : Zhavoronok (Glinka), The Lark

ラフマニノフ : 絵画的練習曲集より 第9番 二長調 op.39

Rachmaninov : Études-tableaux, op. 39, No. 9 in D Major

グリンカの歌曲集《ペテルブルクへの別れ》の中の「ひばり」をバラキレフはピアノソロへ編曲した。詩は男性の失恋を語っている。2曲目の作品39の曲集は1916年12月にペトログラード（現在のサンクトペテルブルク）にて作曲家自身の手で初演された。第9曲は実に管弦乐的に記されており、東洋風の行進曲といわれている。



[Profile]高松第一高等学校音楽科卒業。大学選抜により、多数の演奏会に出演。これまでに、山畑誠、渡辺健二、武内俊之、秋場敬浩、佐野まり子、綾野昌代、三好晶子、栗林久美子の各氏に師事。ソルフェージュを桑名邦子氏に、歌曲伴奏法を松川儒氏に師事。

■ 休 憩 ■

しばた さえこ
10. 柴田 紗枝子 東京音楽大学 4年/マリンバ

一柳 慧 : 森の肖像

Toshi ICHIYANAGI: Portrait of Forest for Solo Marimba

マリンバ独奏のための「森の肖像」は、菅原淳の委嘱により作曲され、1983年9月28日、東京の草月ホールで開かれたリサイタル「ジョン・ケージと一柳 慧の響き」で初演された。静謐な森の、それぞれの肖像を作り出す。そして環境問題への提起でもある。第37回日本管打楽器コンクール(2022)マリンバ部門課題曲。



[Profile]横須賀市出身。13才より打楽器を始め、東京音楽大学に入学。ジャワガムラングループのランバンサリのメンバーとして新曲レコーディングに参加。これまでに、菅原淳、村瀬秀実、秋田孝訓、柴原誠の各氏に師事。

みぞぐち ことね
11. 溝口 琴音 愛知県立芸術大学 4年/チェロ

ピアノ

小野 杏奈

(愛知県立芸術大学院音楽研究科後期博士課程2年)

ドヴォルザーク : ロンド ト短調 op.94

Dvořák : Rondo g-moll op.94

この「ロンド」作品94ト短調は、アントニン・ドヴォルザーク(1841-1904)によって、1891年にチェロとオーケストラのための作品として作曲された。ジプシー風の旋律による快活な主題で始まる。そして、激しい半音階の部分は予期しなかった悲痛さを持っており、これに要約された祈りのような音楽が直接続く。ドヴォルザークの抒情的な感情の見える作品である。



[Profile]三重県出身。第2回P-NEXTチェロコンクール準グランプリ。第76回全日本学生音楽コンクール大阪大会第1位。大学選抜による演奏会「室内楽の楽しみ」「室内楽の夕べ」に出演。C.Kanngiesser、H.C.Schweikerの各氏のレッスンを受講。S.Koncz氏のマスタークラスを受講。これまでに、小林薫、弘田徹、野村友紀、花崎薫の各氏に師事。

いしくろ かおる
12. 石畝 馨 京都市立芸術大学 4年/コントラバス

ピアノ

飯田 華怜

(京都市立芸術大学2年)

マーティン : Temperamental

Martin : Temperamental

アンドレス・マーティンはアルゼンチン出身のコントラバス奏者、作曲家。彼は2017年に、アメリカのコントラバス奏者ジェフ・ブラデティッチのためにこの曲を作曲しました。調弦の変更を始めとする楽器の個性を活かした工夫が凝らされた、タンゴの影響を色濃く受けた力強い曲です。



[Profile]京都府出身。第4回泉の森コントラバスコンクール奨励賞、第28回KOBEL国際音楽コンクールC部門優秀賞。石丸美佳、黒川冬貴、西口勝、Simon Polezhayevの各氏に師事。洛南高等学校卒業。

たけうち あやか
13. 竹内 彩華 沖縄県立芸術大学 2年／ホルン

ピアノ
志水 栞音
(沖縄県立芸術大学2年)



ノイリンク：低音ホルンとピアノのためのバガテル

Neuling : Bagatelle für tiefes Horn und Klavier

H.ノイリンク(1897~1967)はドイツのホルン奏者で、ベルリン国立歌劇場の低音ホルン吹きとして活躍しました。この曲は低音ホルン吹きにとって重要なレパートリーであり、オーケストラの2,4番ホルン奏者のオーディション課題曲としてよく演奏されます。3オクターブを超える音域で繰り広げられる技巧的なパッセージが印象的です。

[Profile]沖縄県出身。11歳よりホルンを始める。沖縄県立那覇高等学校卒業。ホルンを阿部雅人、田場英子の各氏に師事。

うえのやま みにい
14. 上野山 弥新 京都市立芸術大学 4年／ピアノ

ショパン：バラード 第3番 変イ長調 op.47

Chopin : Ballade No.3 As-Dur op.47

ショパンは生涯において4曲のバラードを作曲しました。今回演奏させていただく第3番は、ショパンが作曲した4曲のうちで唯一の長調、ハッピーエンドを思わせる喜びに満ちた作風であり、輝かしい壮麗な音響の中で曲が閉じられます。患っていた病から解放され、ノアンの地で幸せな時間を過ごしたショパンに思いを馳せながら演奏したいと思います。



[Profile]第33回京都芸術祭音楽部門にて毎日新聞社賞受賞。第35回中丹文化芸術祭『新進演奏家の調べ』に出演。第24回日本演奏家コンクールピアノ部門大学生の部 第3位。第5回 京都国際音楽コンクール 大学生・一般部門 銀賞。これまでに、藤澤真理子、田代晶子、岡部悦子、阿部裕之、高木竜馬の各氏に師事。

あかぎ ちか
01. 赤木 千華 東京藝術大学 3年/チェンバロ

J.S. バッハ：イギリス組曲 第5番 ホ短調 BWV 810 より プレリユード、アルマンド、ジーク

J.S.Bach: Englische Suiten Nr.5 e-moll BWV 810, Prelude, Allemande, Gigue

バロックの巨匠J.S.バッハの初期作品で、イギリス組曲という名前の由来は不明だが、イタリア協奏曲を思わせる前奏曲の後に、魅力的な舞曲が続く。本日はその第5番から、鋭角な音程によるテーマを展開する前奏曲、ゆったりとしたアルマンド、そして半音階のモチーフによるジークの3つの楽章をチェンバロで演奏する。



[Profile]中学1年よりチェンバロを曾根麻矢子氏に師事。現在、大塚直哉氏に師事。第33回国際古楽コンクール<山梨>鍵盤楽器部門本選入選。

やまがた みき
02. 山縣 美季 東京藝術大学 4年/ピアノ

シューベルト＝リスト：12の歌 S.558 より 第7曲「春の想い」、第8曲「糸を紡ぐグレートヒェン」

Liszt: 12 lieder (Schubert) S.558, No.7. Frühlingsglaube, No.8. Gretchen am spinnrade

命がきらめくような春の陽の中で、悩み苦しむ孤独な人物が温かく描かれる春の想い(春の信仰)、そして「歌曲の王」シューベルトの代表作品、糸を紡ぐグレートヒェン。ファウストへの愛が激情的に、乙女らしく敬虔に清純に描かれます。美しい歌曲をリスト編曲でお届けいたします。



[Profile]第89回日本音楽コンクールピアノ部門第1位。第44回ピティナ・ピアノコンペティション特級ファイナル入選。東京藝術大学宗次徳二特待奨学生。2022年チャネル・ビグマリオン・デイズ参加アーティスト。2022、2023年度ロームミュージックファンデーション奨学生。東誠三、日比谷友妃子の両氏に師事。

おだ ゆうか
03. 小田 裕香 大阪音楽大学 4年/ソプラノ

ピアノ

荒玉 創人
(大阪音楽大学4年)

チマーラ：オンディーナ

Cimara: Ondina

ドニゼッティ：歌劇《アンナ・ボレーナ》より「私の生まれたあのお城」

Donizetti: "Al dolce guidami castel natio", from Opera Anna Bolena

「オンディーナ」は、北欧神話の水の妖精を基に作られた曲です。伴奏の随所に波や光の輝きを想像させるような旋律があり、華やかで迫力がある曲です。「私の生まれたあのお城」は、過去の幻覚を見ながら狂乱状態になった王女アンナ・ボレーナが、かつての恋人であったパーシー卿と過ごしていた頃の思い出を歌う曲です。美しくも切ない旋律に乗せて歌います。



[Profile]京都府出身。学内公演にて《リゴレット》ジルダ、《秘密の結婚》エリゼッタを演唱。オーディションを経てミレニアム・スチューデント・コンサートに出演。《魔笛》ダーメI、《フィガロの結婚》伯爵夫人を演じる。第2回国際声楽コンクール東京本選入選。石橋栄実氏に師事。

たなか りな
04. 田中 里奈 桐朋学園大学 3年/ヴァイオリン

ピアノ

東島 由衣
(桐朋学園大学4年)

ヴィエニャフスキ：華麗なるポロネーズ 第2番 イ長調 op.21

Wieniawski: Polonaise brillante No. 2 in A Major, op. 21

ヴィエニャフスキはポーランド生まれの19世紀を代表するヴァイオリニスト、作曲家です。彼が超絶技巧の持ち主であったため、彼の曲には聴く人をあっと驚かせる華やかな技巧が散りばめられています。この曲には祖国ポーランドの踊りであるポロネーズのリズムがたくさん現れる場面と、懐かしさを感じる暖かなメロディの場面で構成されています。



[Profile]4歳からヴァイオリンを始める。第7回横浜国際音楽コンクール第1位など受賞歴多数。2021年度桐朋女子高等学校音楽科(男女共学)卒業、卒業演奏会に出演。これまでにヴァイオリンを徳永二男、佐々木歩の各氏に師事。2020、2021年度宗次エンジェル基金日本演奏連盟奨学生。桐朋学園大学音楽学部特待生。2022年度青山音楽財団奨学生。

05. 三友 優

武蔵野音楽大学 2年 / ピアノ

ラフマニノフ：絵画的練習曲集 op.39 より第 2 番 イ短調、op.33 より第 9 番 嬰ハ短調

Rachmaninov: Études-tableaux, op. 39, No. 2 in A Minor, op. 33, No. 9 in C-Sharp Minor

op.39-2:「海とかもめ」という標題がつけられており、静かな波のような3連符の伴奏型と、その上下を行き来する物悲しい旋律で始まり、大海原を思わせる展開部へと続きます。op.33-9:「鐘」のタイトルで知られる前奏曲op.3-2の発展形とも言える作品です。強打される和音とほとぼしり出るようなパッセージから苦悶と激情が伝わってきます。



[Profile]第43回ピティナ・ピアノコンペティション2台ピアノ中級部門全国決勝大会ベスト5賞。第31回ヤングアーティストピアノコンクール協奏曲部門奨励賞。令和5年ニュー・ストリーム・コンサート51(トッパンホール)出演。令和4年度福井直秋記念奨学金給費奨学生。石井晶子氏、重松聡氏に師事。

■ 休 憩 ■

06. 松蔭 さとり

相愛大学 2年 / ヴァイオリン

イザイ：無伴奏ヴァイオリンソナタ ホ短調 op.27-4 より 第 1 楽章、第 3 楽章

Ysaïe: Sonata for Solo Violin in E Minor, op. 27-4, I. Allemanda, III. Finale

イザイの無伴奏ヴァイオリンソナタ第4番はフリッツ・クライスラーに献呈されています。曲は3楽章から成り、ホ短調の悲しみのある重厚な第1楽章から始まり、第3楽章はホ長調で終わります。昨年は初めてのコンクールに挑戦し、たくさん勉強させていただきました。今年も心新たに頑張っていきたいです。



[Profile]6歳からヴァイオリンを始める。第74回全日本学生音楽コンクール大阪大会第1位。第12回クオリア音楽コンクールコンサーティスト部門大賞。第26回姫路バルナソス音楽コンクール弦楽器部門第3位。第8回豊中音楽コンクール弦楽器部門、大学・一般の部第1位、豊中市長賞。現在池川章子、甲斐摩耶、大谷玲子の各氏に師事。相愛大学音楽学部特別奨学生。

07. 須田 優璃

国立音楽大学 3年 / オーボエ

ポンキエリ：カプリッチョ

Ponchielli: Capriccio

A.ポンキエリはイタリアの作曲家。ピアノの哀愁漂うテーマから始まり、徐々に盛り上がりを見せオーボエの劇的な演奏が始まる。冒頭の曲想とは異なり、可愛らしく進行していく中間部を経て、輝かしい曲の終末へと向かう。まるでイタリアオペラのような目まぐるしい変化が魅力的な楽曲である。

[Profile]前橋市出身。高崎市立高崎経済大学附属高等学校芸術コース音楽系を卒業。現在、国立音楽大学特別給費奨学生。これまでにオーボエを本田英輝、辻功、金子亜未の各氏に師事。2023年度戸部真紀財団奨学生。

ピアノ

藤井 由香

(群馬交響楽団合唱団ピアニスト)



08. 碓井 莉子

京都市立芸術大学 4年 / ソプラノ

ヴェルディ：歌劇《アイダ》より「勝ちて帰れ」

Verdi: "Ritorna vincitor", from Opera Aida

チレア：歌劇《アドリアーナ・ルクヴルール》より「私は神の卑しい僕です」

Cilea: "Io son l'umile ancella", from Opera Adriana Lecouvreur

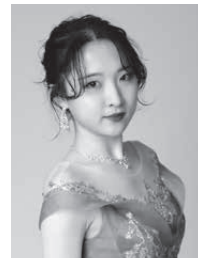
1曲目の「勝ちて帰れ」はヴェルディの歌劇《アイダ》の物語に登場するヒロイン、アイダによって歌われます。愛するラダメスの凱旋と祖国の勝利という相反する願いに苦しみ歌います。歌劇《アドリアーナ・ルクヴルール》は、18世紀にパリで活躍した実在の女優、アドリアエヌ・ルクヴルールの生涯を描いた作品です。賞賛されたアドリアーナは、「私は神の卑しい僕です、神に言葉の力を授かり、人々に伝えます」と謙虚に答えます。救いを神に祈るという2人の女性の強い思いを歌い上げられるよう精一杯演奏致します。

[Profile]大阪府出身。第37回全日本ジュニアクラシック音楽コンクール高校生の部第1位。第5回豊中音楽コンクール高校生の部第1位。これまでに声楽を、虫本友、小濱妙美の各氏に師事。

ピアノ

澤井 美樹

(京都市立芸術大学4年)



やまもと しな
09. 山本 志奈

東京音楽大学 4年/ヴァイオリン

ピアノ

竹田 俊亮

(桐朋学園大学大学院修了)



ヴェニャフスキ：グノーの《ファウスト》の主題による華麗なる幻想曲 op.20

Wieniawski: *Fantaisie brillante on themes from Gounod's Faust, op. 20*

ヴェニャフスキはポーランドの名ヴァイオリニストで、ヴァイオリンのための技巧的で華麗な作品を数多く残しています。題材となっているグノーの歌劇《ファウスト》は、年老いた学者ファウストが彼を誘惑する悪魔に魂を売り、永遠の若さを手に入れるという物語です。様々な場面が登場し超絶技巧も織り込まれたとても華やかな作品です。

[Profile]高知県出身。5歳よりヴァイオリンを始める。これまでに武内恵子、中川直子、渡辺弘子の各氏に師事。現在、大谷康子、海野義雄の各氏に師事。市川市文化振興財団第35回新人演奏家コンクール弦楽器部門にて優秀賞受賞。東京音楽大学付属高等学校卒業。東京音楽大学2022年度給費奨学生。

あらかわ ひろき
10. 荒川 浩毅

東京藝術大学 4年/ピアノ

グラナドス：組曲《ゴイエスカス》より 第3曲「ともしびのファンダンゴ」

Granados: *Goyescas No.3 "El fandango del candil"*

ドビュッシー：12の練習曲より 第5番「オクターヴのための」

Debussy: *12 Etudes No.5 "Pour les octaves"*

《ゴヤ風に》という組曲の中の1つであるこの「ファンダンゴ」は、後の決闘を予感させる、どこか不穏なほの暗い雰囲気の中で踊られる熱気を帯びた男女の踊りの場面となっています。「オクターヴのために」は、目まぐるしく変わる強弱、調性、5音階などの繊細なニュアンスにより、おどけているようにも聞こえる色彩豊かな曲です。

[Profile]札幌市出身。第一回藝大ピアノコンクール第1位。21年度学内にてアリアドネ・ムジカ賞受賞。第21回飛騨河合音楽コンクール第2位。第9回野島稔・よこすかピアノコンクール第2次予選、及び本選聴衆賞受賞。これまでに渡辺郁子・吉永哲道・土田英介・外山啓介・植田克己・追昭嘉各氏に師事。



■ 休憩 ■

たつみ ちなつ
11. 巽 千夏

東京藝術大学 3年/ヴァイオリン

ピアノ

山縣 美季

(東京藝術大学4年)



フバイ：カルメンによる華麗な幻想曲 op.3, No.3

Hubay: *Carmen, fantaisie brillante, op. 3, No. 3*

この曲は、ビゼーの歌劇《カルメン》を、作曲家でヴァイオリニストでもあるフバイが編曲したものです。《カルメン》は悪女の物語で、妖艶な彼女が様々な男性をたぶらかし、最終的には男性の嫉妬により殺されてしまいます。実際は3時間以上もある作品がわずか10分に編曲されているので、その目まぐるしく変わる場面をお楽しみください。

[Profile]第68回全日本学生音楽コンクール、第15回大阪国際音楽コンクール第1位。国際音楽祭NIPPON2016に参加。2016～2018年度ヤマハ音楽奨学生。2019、2022、2023年度岡田文化財団奨学生。これまでに上條尚人、森田玲子、松原勝也各氏、現在は漆原朝子、植村太郎両氏に師事。福島賞受賞。

まつもと たくや
12. 松本 拓也

京都市立芸術大学 4年/ファゴット

ピアノ

森脇 涼

(京都市立芸術大学指揮専攻4年)



R. シューマン：3つのロマンス op.94 より 第2曲 素朴に、内的に 第3曲 速くなく

R. Schumann: *3 Romanzen, op.94, II. Einfach, innig, III. Nicht schnell*

この作品は、妻であるクララ・シューマンへのクリスマスプレゼントとして贈られた作品であり、彼女のピアノによって初演された。ロベルトは躁うつ病に悩まされていたため、その感情の起伏の激しさが作品にも顕れる事が多い。しかし、この作品においては感情が複雑に交錯する事はなく比較的シンプルな美しさがある。そこにはクララへの真っ直ぐな愛情が込められているのだろう。

[Profile]12歳よりファゴットを始める。これまでに藤岡幸夫、阪哲朗、下野竜也らと共演。メディアにはテレビ朝日「題名のない音楽会」に出演。ジョルジオ・マンドレージ、フィリップ・トゥッツァー、ローラン・ルフェーブル、マティアス・ラッツ各氏のマスタークラスを受講。ファゴットを高島翔大、奥山紀子、中野陽一朗の各氏に師事。

きむら さくらこ
13. 木村 桜子 京都市立芸術大学 4年/ソプラノ

ピアノ

中嶋 奏音

(京都市立芸術大学大学院修士課程2年)

R. シュトラウス : 《乙女の花》 op.22 より 第3曲 「きづた」

R. Strauss : *Madchenlumen, op. 22, No. 3. Epheu*

團伊玖磨 : 歌劇《夕鶴》より「与ひょう、あたしの大事な与ひょう」

Ikuma DAN : "Yohyo, my precious, Yohyo", from Opera YUZURU

「きづた」: ダーンの詩4篇にシュトラウスがメロディをつけた歌曲集op.22《乙女の花》の1曲。少女をキツタに例え、愛情に満ちた深い美しさを表現している。「与ひょう、~」: 嫌われ者の運ずと惣どにそそのかされ「お金」を気に入ってしまった与ひょうに対して、妻のつうが大事な与ひょうの心がだんだん離れて行く不安と悲しみを切々と訴える。



[Profile]長浜市出身。滋賀県立石山高等学校音楽科卒業。長浜市少年少女合唱団に入団したことをきっかけに歌うことに興味を持ち、11歳から声楽を始める。第2回国際声楽コンクール東京《本選》大学生部門第4位。これまでに声楽を野々垣恵信、藤花優子、大谷由美子、三井ツヤ子、日紫喜恵美の各氏に師事。

ふくおか まりん
14. 福岡 真凜 相愛大学 3年/ヴァイオリン

ピアノ

新 ゆう

(ピアニスト)

シベリウス : ヴァイオリン協奏曲 二短調 op.47 より 第3楽章

Sibelius : *Violin Concerto in D Minor, op. 47, III. Allegro*

1903年、シベリウスが38歳の時に作曲された協奏曲。第3楽章は冒頭から一定したリズムの中で始まり、舞曲的な要素が感じられる。ヴァイオリンのソロは非常に技巧的で華やかさはあるものの、その全てを決して前には打ち出さず、心の内で燃える強さをうかがわせる。悲哀と情熱に満ちた響きにきくと魅了されるでしょう。



[Profile]第73回全日本学生音楽コンクール大阪大会高校の部第1位。第1回日本国際音楽コンペティション大学の部第2位。第35回京都芸術祭音楽部門毎日新聞社賞受賞。小澤国際室内楽アカデミー奥志賀、プロジェクトQ第20章に参加。現在、大谷玲子・中島慎子の両氏に師事。相愛大学音楽学部特別奨学生。

ひがしじま ゆい
15. 東島 由衣 桐朋学園大学 4年/ピアノ

ショパン : バラード 第4番 へ短調 op.52

Chopin : *Ballade no.4 f-moll op.52*

1842年、恩師と親友の死を相次いで経験したショパンは、この作品のほかに《ポロネーズ第6番「英雄」》などの傑作を生み出した。全体がほの暗く鬱々とした空気でも覆われており、幻想的な響きと現実の厳しさ、生と死によって完成する人間の命の儚さを思わせる。あふれ出る究極的な美しさを表現したい。



©ayane shindo

[Profile]埼玉県出身。第13回桐朋ピアノ・コンペティション第1位。第46回ピティナ・ピアノコンペティションPre特級銅賞。第1回群馬国際音楽コンクールグランプリ・登利平賞など、受賞多数。現在、ピアノを中井恒仁、武田美和子、作曲を清水篤、鈴木輝昭の各氏に師事。

Vol.3 2024.3.16 sat 15:00 開演 (14:30 開場)

なかむら りの
01. 中村 梨乃 京都市立芸術大学 4年/ピアノ

ドビュッシー：映像 第2集より 1.「葉ずえを渡る鐘の音」、3.「金色の魚」

Debussy: Images 2. No.1. "Cloches à travers les feuilles", No.3. "Poissons d'or"

映像 第2集は東洋と深い関わりをもった作品です。第1曲「葉ずえを渡る鐘の音」では、静けさの中に響く教会の鐘の音を全音階、五音音階を使って表現されています。第3曲「金色の魚」は、日本の漆器盆に金粉で描かれていた二尾の鯉にインスピレーションを得たといえます。素早いパッセージの技巧的な絡み合いが、戯れる魚を表現しています。



[Profile]学内選抜を経て、阪哲朗氏指揮、京都市立芸術大学音楽学部・大学院管弦楽団とソリストとして共演。第25回松方ホール音楽賞ピアノ部門本選入選。第4回ベートーヴェン国際ピアノコンクール第2位、並びに相模湖交流センター賞、セントレア賞受賞。これまでに毛利浩子、大富栄里子、阿部裕之、高木竜馬の各氏に師事。2022年度青山音楽財団奨学生。

あらき りょうた
02. 荒木 良太 東京藝術大学 4年/オーボエ

ピアノ
榎 和馬

(東京藝術大学音楽学部作曲科4年)

R. シューマン：アダージョとアレグロ op.70

R. Schumann: Adagio und Allegro As-Dur op.70

この曲は1849年に当時としては珍しいバルブホルンのために書かれた室内楽曲ですが、その美しさから現在ではチェロやヴァイオリン等様々な楽器で演奏されています。ゆったりと歌うアダージョ(当初はロマンスという題がついていたほどでした)と華々しいアレグロの対比を、本日はオーボエの音色でお楽しみいただければと思います。



[Profile]堺市出身。12歳よりオーボエを始める。大阪大学基礎工学部卒業、同年に東京藝術大学音楽学部器楽科へ進学。学業と並行して国内のプロオーケストラ、吹奏楽団に客演する。第37回日本管打楽器コンクール第1位。2023年10月より東京交響楽団首席オーボエ奏者研究員。

おの そうすけ
03. 小野 颯介 東京藝術大学 3年/テノール

ピアノ
新井 凜

(東京藝術大学大学院修士課程3年)

ベートーヴェン：連作歌曲《遙かなる恋人に》op.98

Beethoven: An die ferne Geliebte, op. 98

山や谷を越えた先、遙か遠くにいる恋人への想いを綴った6つの曲が、切れ目なく演奏される連作歌曲です。21歳の医学生アロイス・ヤイテレスの描く若く素朴な詩にベートーヴェンがそっと寄り添うような、暖かく上品な作品です。隔たりへの苦しみをこえていく純粋な愛、様々な痛みと憧れを丁寧に感じ、演奏します。



[Profile]東京都出身。学習院高等科卒業。草津夏季国際音楽アカデミーにて、アンゲリカ・キルヒシュラーガー氏のマスタークラスに参加。アルベルト・クビード、黒田亜希子両氏のマスタークラスを受講。声楽を、萩原潤、倉石真の両氏に師事。2023年度宮田亮平奨学金受賞。

にえだ みう
04. 贄田 美羽 東京藝術大学 3年/コントラバス

ピアノ
林 典子

(ピアニスト)

ボッテジーニ：コントラバス協奏曲 第2番 口短調 より 第1楽章

Bottesini: Double Bass Concerto No. 2 in B Minor, I. Allegro moderato

この曲は、コントラバス協奏曲の中でも、最も有名な曲の一つです。ボッテジーニはイタリアの作曲家で、著名なコントラバス奏者としても活躍していました。コントラバスの技巧的な部分がありつつも、イタリアらしい歌心あふれる曲です。魅力が伝わるよう、心を込めて演奏いたします。



©ayane shindo

[Profile]高崎市出身。コントラバスを、矢吹けさみ、若林昭、吉田秀、池松宏、石川滋の各氏に師事。第1回中学生・高校生のためのコントラバスコンテスト金賞、鷺見賞受賞。第32回日本クラシック音楽コンクールコントラバス部門大学生の部第4位(最高位)受賞。

のの えみり
05. 野々笑莉 愛知県立芸術大学 3年/サクソフォン

ピアノ
菅原 舞永
(愛知県立芸術大学3年)



オルブライト：アルト・サクソフォンとピアノのためのソナタより 第1楽章、第2楽章

Albright : Sonata for Alto Saxophone and Piano I, II mov.

アメリカの作曲家ウィリアム・オルブライトが1984年に作曲した。全4楽章から成り、本日は第1・2楽章を演奏します。第1楽章インベンションは緊張感のあるシリアスな響き。3拍子のシャコンヌ形式の第2楽章は、親友の作曲家ジャージ・カンオペへの哀悼の意が込められ悲しい響き。サクソフォンとピアノが織りなす現代的で抒情的な世界をお楽しみください。

[Profile]愛知県立明和高等学校卒業。第21回大阪国際音楽コンクールAge-H第3位。大学2年時に成績優秀学生による学部定期演奏会にて独奏。名古屋フィルハーモニー交響楽団とソリストとして共演。これまでにサクソフォンを佐野功枝、堀江裕介、有村純親、田中靖人、平野公崇の各氏に師事。

■ 休憩 ■

おかだ ゆきよ
06. 岡田 幸世 京都市立芸術大学 4年/作曲

フルート
俵 啓乃
(京都市立芸術大学大学院修士課程2年)



岡田幸世：L'étoile

Yukiyo OKADA:L'étoile

「étoile」とはフランス語で星という意味であり、かつエドガー・ドガ(1834~1917)による絵画のタイトルである。その名の通り首席ダンサーを描いたものだが、主題であるはずの踊り子は画面の右に寄せられ、左上には顔の見えない黒い男性が描かれている。この男性はおそらく踊り子のパトロンであり、一枚の画面で、華麗な踊り子の姿とその背景にある当時の社会の闇を同時に表現しているかのようである。無伴奏作品を書くにあたっていかにポリフォニーを表現するかという課題が、この絵画の持つ二面性と重なるように感じ、本作品に着手した。エトワールを想起させるヴィルトゥオーゾ的要素と、その間に挿入される単音の要素(しかし正確には音色や微分音程による揺れを伴う)が時に重なり合い、時に立場を逆転させながら展開する。複数の声部を作ることと同時に、二つの要素の関係性の変化を試みた作品である。

[Profile]相愛大学音楽学部創作演奏専攻を経て現在京都市立芸術大学音楽学部作曲専攻4年次在籍中。これまでに作曲、音楽理論を赤石敏夫、山口友寛、岡田加津子、中村典子、酒井健治の各氏に師事。

たけだ りくと
07. 竹田 陸人 相愛大学 4年/クラリネット

ピアノ
渡辺 友梨香
(東京藝術大学大学院修士課程2年)



ヒンデミット：クラリネットソナタより 第1楽章、第4楽章

Hindemith : Clarinet Sonata, I. Mässig bewegt, IV. Kleines rondo, gemächlich

パウル・ヒンデミットは、20世紀にドイツで活躍した作曲家であり、生涯でほぼ全ての楽器のためにソナタを作曲しました。その中で本楽曲は、1939年に作曲されたものであり、4つの楽章で構成されています。今回はその中から、第一、第四楽章を抜粋して演奏させていただきます。ヒンデミットならではの和声感や響きを、どうぞお楽しみください。

[Profile]近畿大学附属高校卒業。相愛大学音楽学部特別奨学生。第27回KOBEL国際音楽コンクールで優秀賞及び神戸新聞社賞、第32回日本クラシック音楽コンクール第2位を受賞。パトリック・メッシーナ、イシュトヴァン・コハーン、アレッサンドロ・ベヴェラリ、マニュエル・メツガー、ユーク・スアラ各氏のレッスンを受講。児玉知郎、青山秀直の各氏に師事。

なかそね ごう
08. 中曽根 豪 東京藝術大学 2年/テノール

ピアノ
松井 美侑
(武蔵野音楽大学大学院博士後期課程
ピアノコラボレィティブアーツ1年)



R. シュトラウス：『最後の花びら』より8つの歌 op.10より 第1曲「献呈」、第8曲「万霊節」

R. Strauss : 8 Gedichte aus "Letzte Blätter", op. 10, No. 1. Zueignung, No. 8. Allerseelen

《4つの歌曲》op.27より 第2曲「ツェツィーリエ」

4 Lieder, op. 27, No. 2. Cäcilie

R.シュトラウスは、150曲以上の歌曲を作曲した。『最後の花びら』より8つの歌作品10は初期の歌曲作品で保守的なものである。「献呈」は崇高な愛を、「万霊節」は亡き恋人への想いを歌う。《4つの歌曲》作品27は中期の作品で、彼ならではの官能性や豊かな色彩が感じられる。「ツェツィーリエ」は熱烈な恋の歌で、彼のオペラ作品を思わせる。

[Profile]群馬県出身。群馬大学教育学部音楽専攻を首席で卒業。これまでに声楽を山崎法子、渡辺正親、甲斐栄次郎の各氏に師事。

いのうえ ほのか
09. 井上 帆乃香 京都市立芸術大学 4年 / チェロ

ピアノ
鈴木 華重子
(京都堀川音楽高等学校非常勤講師)



ショパン：序奏と華麗なるポロネーズ ハ長調 op.3

Chopin: Introduction et polonaise brillante C-Dur op.3

ショパンは、ピアノ独奏曲が大半を占めるなか、極めて少数ですが室内楽作品も残しました。うち3曲がチェロとピアノの二重奏曲であり、彼はピアノを引き立てるチェロの音色を好んだと言われます。序奏は華やかなカデンツァ風のピアノ独奏で始まり、ポロネーズの部分はAlla Polacca「ポーランド風に」となり陽気で飛び跳ねるような明るい曲調になります。

[Profile]第29回日本クラシック音楽コンクール全国大会高校の部第2位。第75回全日本学生音楽コンクール全国大会大学の部第1位およびNHK会長賞、京都市文化芸術みらい賞を受賞。第33回京都芸術祭音楽部門「世界に翔く若き音楽家たち」に出演、毎日新聞社賞を受賞。これまでに後藤敏子、水野奈美、向山佳絵子の各氏に師事。

かわさき れみか
10. 川崎 麗美花 大阪音楽大学 3年 / ピアノ

スクリャービン：ピアノソナタ 第4番 嬰へ長調 op.30

Scriabin: Sonata for Piano No. 4 Fis-Dur op.30

この作品をもって、スクリャービン独自のスタイルが確立され、中期の開始を告げられることとなる。この作品は2つの楽章から成り、切れ目なく演奏される。開始部の天上的な静けさは、星が美しく優しく輝くようである。第2楽章は第1楽章とは対照的に、躍動的である。神秘的な美しい旋律から、輝かしいクライマックスまで一気に飛翔する。



[Profile]第24回ショパン国際ピアノコンクールin ASIA 大学生部門アジア大会銀賞。第8回豊中音楽コンクール大学・一般の部第2位。第22回宝塚ベガ学生ピアノコンクール大学生部門第3位。選抜学生によるザ・コンチェルト・コンサートに出演し、ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団と共演。これまでに、深谷直仁、末岡智子、岡原慎也各氏に師事。

■ 休 憩 ■

いしづか ゆめ
11. 石塚 有愛 京都市立芸術大学 4年 / 音楽学

研究発表：『19世紀グランドオペラの娯楽性 台本作家スクリーブに着目して』

グランドペラとは、主に19世紀フランスのパリ・オペラ座で上演されたオペラのジャンルである。合唱を多用することや、バレエが必ず挿入されること、そのほとんどが5幕であることなどでよく知られており、近年再評価が進んでいる。今日のグランドペラ研究は、その音楽性、挿入されるバレエ、独特な観劇文化、フランス国外での受容といった観点のものが多い。しかし、それらの研究において、パリ・オペラ座で上演されたグランドペラの重要な作品のほとんどを同じ台本作家が手掛けている点は重要視されていない。これらの状況を踏まえて、本研究では、グランドペラの草創期から全盛期にかけて台本作家として一世を風靡したウジェーヌ・スクリーブ(1791~1861)に着目し、彼の作家としての経歴を追いながら、彼がグランドペラにもたらした、民衆を熱狂させた要素について考察する。オペラ台本作家に限らずさまざまなジャンルを手掛けたスクリーブの創作期を整理し、オペラ台本を構成するにあたってスクリーブの方法のどこに新規性があったのかを明らかにすることを目標とする。



[Profile]4歳よりピアノを始める。京都市立芸術大学音楽学専攻に入学。以降、作曲活動、音楽教育活動と並行して、台本作家に着目した19世紀フランスのグランドペラの研究を行う。

ましこ あおい
12. 益子 葵 東京芸術大学 4年 / テノール

ピアノ
槇 和馬
(東京芸術大学音楽学部作曲科4年)



プッチーニ：歌劇《トスカ》より「妙なる調和」、「星は光りぬ」

Puccini: "Recondita armonia", "E lucevan le stelle", from Opera Tosca

プッチーニの代表的な歌劇である《トスカ》から、カヴァラドッシのアリアを2つ演奏します。「妙なる調和」は教会の壁画を描いているカヴァラドッシの恋人のトスカへの思いを、「星は光りぬ」はまもなく銃殺されるカヴァラドッシが、明け方の星に、トスカへの思いを歌います。

[Profile]船橋市出身。千葉県立津田沼高校音楽コース卒業。小学4年生よりホルンを始め、高校2年から合唱部に所属し、高校3年より声楽を始める。在学中に令和4年度に宮田亮平奨学金、令和5年度に安宅賞を受賞。声楽を飯田祥子、樋口達哉各氏に師事。2022年度青山音楽財団奨学生。

おおもと かずし
13. 大本 和司 相愛大学 3年/ヴァイオリン

ピアノ
西川 ひかり
(相愛大学大学院修士課程修了)

ブラームス：ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 op.77 より 第3楽章

Brahms: Konzert für Violine und Orchester D-Dur, op.77, 3. Allegro giocoso, ma non troppo vivace

ブラームスが作曲家として一番の充実期を迎えていた頃の作品。構成などにベートーヴェンの影響を受けながら、親友でヴァイオリニストのヨアヒムとの協力を得て完成した。今日演奏する第3楽章は舞踏的な楽章である。ロンド形式で、ハンガリー風の主題で始まる。この主題はコーダではトルコ行進曲風に変形される。



[Profile]第72回全日本学生音楽コンクール大阪大会高校の部第1位。第50回堺市新人演奏会優秀賞。第1回横浜国際ヴァイオリンコンクールF(大学・一般)部門第1位。プロジェクトQ第20章に参加。現在田辺良子氏に師事。市立西宮高校普通科卒業、相愛大学音楽学部特別奨学生。2022年度青山音楽財団奨学生。

いなづみ ひな
14. 稲積 陽菜 桐朋学園大学 2年/ピアノ

ショパン：バラード 第4番 へ短調 op.52

Chopin: Ballade no.4 f-moll op.52

この曲はショパンが作曲した4曲のバラードの中で一番最後に作曲された、後期の作品である。全体を通して様々な形で悲しみの感情が表現されている。彼の作曲技法が尽くされており、ショパンのピアノ作品の中でも最高傑作と言われる。



©ayane shindo

[Profile]2022年第13回桐朋ピアノ・コンペティション第1位。第91回日本音楽コンクール入選。2023年第10回アリオン桐朋音楽賞受賞。東京フィルハーモニー交響楽団、桐朋学園オーケストラと共演。ピアノを三上桂子、沼沢淑音、本村久子、横山幸雄の各氏に師事。現在、桐朋学園大学音楽部特待生。



公益財団法人青山音楽財団 事業内容

主催公演事業

国内外から優れた演奏家を迎え、クラシック音楽発信の場として演奏会を行っています。
室内楽専用に設計された音響を持つ200席の空間で、贅沢なひとときをお楽しみください。

青山音楽賞

毎年1月から12月までの期間中、バロックザールで開催し、かつエントリー条件を満たした公演の中から選考し、「新人賞」「青山賞」「バロックザール賞」の三部門で、演奏家の成長と芸術性の向上への期待を込めて「青山音楽賞」を授与しています。

新人助成公演・助成公演

演奏家の活動支援の一環として、ホール使用料の減免など演奏会の費用助成を行っています。

育成支援事業

音楽を学ぶ学生たちや団体によりよい環境づくりの支援をしています。

- ・学校等支援事業…大型楽器や楽譜の購入、マスタークラスの開催などに活用されています。
- ・奨学金事業…音楽大学または音楽学部で学ぶ優秀な学生へ奨学金の給付を行っています。

公益財団法人青山音楽財団は、広く音楽活動の普及と発展に寄与しています。詳しくはホームページをご覧ください。

www.aoyama-music-foundation.or.jp